

# 『フィガロの結婚』参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に対作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。ぜひお気軽にお立ち寄りください。  
開室時間：10:00～18:00 月曜休室（祝休日及び主催公演日は他曜日に振替）

## 公演プログラム

2003/2004 SEASON **フィガロの結婚** (2003.10)

2007/2008 SEASON **フィガロの結婚** (2007.10)

2004/2005 SEASON **フィガロの結婚** (2005.4)

2010/2011 SEASON **フィガロの結婚** (2010.10)

## 参考図書

<楽譜> <b>Le nozze di Figaro</b>	Berenreiter	2005 年発行	フル・スコア
<b>Die Hochzeit des Figaro</b>	C.F.Peters	1997 年発行	ヴォーカル・スコア
<b>Le nozze di Figaro</b>	Berenreiter	1976 年発行	ヴォーカル・スコア
<b>世界歌劇全集1 フィガロの結婚</b>	音楽之友社	1962 年発行	ヴォーカル・スコア

## <対訳> モーツァルト **フィガロの結婚** (名作オペラボックス 1)

アッティラ・チャンパイ ディートマル・ホラント＝編／音楽之友社 1987 年発行

リブレットの対訳から、『フィガロの結婚』作曲の経緯、初演時と 20 世紀の評価、ディスコグラフィまで幅広く網羅した資料集。

## 魅惑のオペラ<7> **フィガロの結婚** グラインドボーン・フェスティバル・オペラ 小学館 2007 年発行

対訳つき解説 BOOK。(DVD は視聴できません)

## 対訳 **フィガロの結婚** (Le nozze di Figaro) 河原廣之＝編集・校閲・注釈／オペラ読本出版 2005 年発行

著者はスカラ座やフィレンツェ歌劇場日本公演の主任通訳を務め、二期会、オーチャードホールなど全国の主要歌劇場でイタリア語ディクシオンの指導、演出にかかわる傍ら、40 冊を超えるオペラ対訳書を出版している。

## モーツァルト **フィガロの結婚** (オペラ対訳ライブラリー) 荒井秀直＝訳／音楽之友社 2001 年発行

台本テキストを数行単位で原語と日本語訳交互に記載。イタリア語の文法解説つき。

## <作品解説>

### [新訳] **フィガロの結婚** 付「フィガロ三部作」について ボーマルシェ＝著／鈴木康司＝訳／大修館書店 2012 年発行

モーツァルトのオペラで知られるボーマルシェの傑作戯曲『フィガロの結婚』待望の新訳。結婚式目前のフィガロとシュザンヌ。彼女に横恋慕するアルマビーバ伯爵をはねのけて、晴れて夫婦となれますかどうか—快男児フィガロの活躍がテンポよい現代語でいきいきと蘇る。フランス古典演劇の神髄。

### オペラ演出家の読み解く **オペラ『フィガロの結婚』** 平尾力哉＝著／文芸社 2012 年発行

好評のオペラ解説シリーズ第3弾！ 数あるオペラ作品のなかでも、著者がとくに愛好する『フィガロの結婚』について、モーツァルトの曲、ダ・ポンテの台本を読み解きながら、その魅力に迫る。また、作品解説の合間に、モーツァルトが「神童」と呼ばれた頃から『フィガロの結婚』発表に至るまでの半生を紹介し、本作がこの偉大な作曲家に与えた影響についても考察する。

### モーツァルトとオペラの政治学 三宅新三＝著／青弓社 2011 年発行

貴族社会から市民社会への転換期に生きた芸術家モーツァルト。彼のオペラの根底には愛と結婚をめぐる新旧社会の規範の対立や葛藤というエロスの問題が横たわっている。その諸相を『フィガロの結婚』を含む七大オペラを通して読み解く。

### オペラのイコロジー<5> **フィガロの結婚** モーツァルトの演劇的世界 松田聡＝著／ありな書房 2009 年発行

傑作オペラ“フィガロの結婚”の成立時の姿に、作品の「内」と「外」の双方から迫り、台本作家ダ・ポンテと作曲家モーツァルトが、複雑で抜群の面白みをもつボーマルシェの喜劇をいかに巧みにオペラに移し変え、独特の演劇的世界を生みだしたかを、場面ごとに詳しく検証し、18世紀後半のウィーンにおけるオペラ上演をめぐる情勢の変化を踏まえ、モーツァルトがこの作品に曲をつけることになった経緯をたどり、当時の宮廷劇場の公演状況を視野に収めて新たな解釈を提示する。

### オペラ「**フィガロの結婚**」のことが語れる本 **オペラや映画を見るときに「あ、そうなのか」**

金子一也＝著／明日香出版社 2008 年発行

「フィガロの結婚」の作品からは、当時貴族に仕える身だったモーツァルトの社会風刺の精神と人生観がかいまみえます。つまり、モーツァルトの生き様に触れることで「フィガロの結婚」を深く鑑賞できるようになるのです。本書は、はじめてオペラを鑑賞するという人に向けての手引書にも適しています。ぜひ鑑賞する前に後に読んでみてください。

## モーツァルト《フィガロの結婚》読解 暗闇のなかの共和国 水林章＝著／みすず書房 2007年発行

男女の結びつきが家父長制と宗教に縛られ、男性成人のみが家長の資格において政治社会のメンバーと認められた近世身分制社会に、フィガロとスザンナという政治的公共圏の外に追いやられた二人を物語の中心に据えた、フランスの戯曲作家ボーマルシェの『フィガロの結婚』。この作品が胚胎する身分制的・世襲制的な秩序の解体へのエネルギーを、ダ・ポンテの台本とモーツァルトの音楽は、意志的に作られた新しい公共的な世界としての「共和国」への飛翔へと、みごとに解き放つてみせた。その途方もない新しさは、どのような音楽的超琢によって生み出されたのか。リブレットとスコアにつねに立ち戻りながら、戯曲とオペラ両作品の繋がり、そして懸隔を確かめ、オペラ『フィガロの結婚』の魅力と秘密を、詳細かつダイナミックに描いた、類のないテキスト読解。

## モーツァルトはオペラ 歌芝居としての魅力をさぐる 西本晃二＝著／音楽之友社 2006年発行

『フィガロの結婚』を含む後期のオペラ7作品を、台本から、歌詞、演出、字幕スーパーまで、縦横に論じる。

## ロココの裏の欲望 モーツァルトのオペラワールド 永竹由幸＝著／株式会社ショパン 2006年発行

優雅、華麗なロココ社会の裏に潜む人間のデモニッシュな欲望をあげいたモーツァルトのオペラ7作品の解説。

## モーツァルト 魔法のオペラ アニー・パラディ＝著／武藤剛史＝訳／白水社 2005年発行

緻密な作品分析に加えて、書簡を丹念に読み込み、オペラに呼応する形でひそかに演じられていた実人生の物語を愉快感にあふれた文体で綴ったユニークなモーツァルト論。

## モーツァルト オペラのすべて 堀内修＝著／平凡社 2005年発行

生涯のうちに22ものオペラ作品を生み出したモーツァルトは、オペラをどのように考え、そして何を目指したのか。200年以上にわたり世界中で最も愛されてきた彼のオペラ全作品のあらすじ、聴きどころを紹介した初めての書。

## モーツァルトのオペラ ルードルフ・アンガー・ミュラー＝著／吉田泰輔＝訳／音楽之友社 1991年発行

モーツァルトの22のオペラの作曲の経緯、初演から今日までの流れを追うことにより、時代とともに変容するモーツァルトのオペラの全貌を明らかにする。収録写真・図版約360点。没後200年を記念して出版された。

## モーツァルトのオペラ エドワード・J・デント＝著／石井宏、春日秀道＝訳／草思社 1985年発行

『魔笛』を含むモーツァルトのオペラ7作品について、それまでのドイツ的、弁証法的音楽美学から解き放ち、現代的解釈への道をひらいた画期的労作。作品誕生にまつわる数々のエピソードも豊富。

## モーツァルト II(作曲家別名曲解説ライブラリー14) 音楽之友社 1994年発行

### <作曲家関連>

## モーツァルトとナチス 第三帝国による芸術の歪曲 エリック・リーヴィー＝著／高橋直也＝訳 白水社 2012年発行

ナショナリズムと一見無縁なモーツァルトのイメージや作品を、ナチスはいかに政治的に利用していったか。文化の歪曲の実態とユダヤ系音楽家・学者たちの苦闘を、オーストリア併合以前から戦後の軋轢まで、膨大な資料から検証する。

## モーツァルトの虚実 その生と死 海老澤敏＝著／ペリかん社 2011年発行

天才か、遊び人か、はたまたギャンブラーか。その死は、病死なのか他殺なのか。モーツァルトとは何だったのか。社会史の視点をとり入れて描く、生活者としてのモーツァルト像。

## モーツァルトの脳 ベルナール・ルシュヴァリエ＝著／藤野邦夫＝訳／生駒忍＝解説／作品社 2011年発行

「天才脳」の仕組みを最新の脳神経科学で解剖。さらに、人生経験や感情の観点から、本人の手紙や関係者の証言などを読み解き、「天上の音楽」の秘密を明らかにしていく。

## 新潮選書 恋愛哲学者モーツァルト 岡田暁生＝著／新潮社 2008年発行

絶対王政の没落と近代市民社会の到来という時代の亀裂の中でモーツァルトのオペラは華ひらき、バロック・オペラの予定調和的な世界を破壊し、男と女のエロスを歌った。《フィガロの結婚》を含む五つの傑作群をひとつの「恋愛チクルス」として読み解く、新たな音楽＝文化論。

## モーツァルトの迴廊—MOZART CHRONICLE 2006 海老澤敏＝著／春秋社 2008年発行

とこしえの美しい響きに導かれて…モーツァルト受容の現在。“モーツァルト・クロニクル”最新論集。

## モーツァルトの手紙 高橋英郎＝著／小学館 2007年発行

天才モーツァルトと父レーオポルトとの数百通の書簡を読み解いた大作。モーツァルトが幼少の頃より旅したヨーロッパ各地の地図、旅程表を集録、詳しい人物註付き。

## モーツァルト(作曲家◎人と作品シリーズ) 西川尚生＝著／音楽之友社 2005年発行

## モーツァルトの生涯 海老沢 敏＝著／白水社 1984年発行

## <事典>

**モーツァルト百科全書** 福島章恭＝著／毎日新聞社 2006 年発行

人生の哀しみを珠玉の名曲に結晶させたモーツァルト。その 35 年にわたる破天荒な生涯をたどりながら、折々に産み落とされた名曲を選びすぐりの CD で堪能する。モーツァルト生誕 250 周年記念出版。

**モーツァルト全作品事典** ニール・ザスロー ウィリアム・カウデリー＝編／音楽之友社 2006 年発行

モーツァルトの全作品についての歴史のエッセイを選び集成した、音楽愛好家のための利用しやすい参考書。

**モーツァルト大事典** ロビンズ・ランドン＝原著監修／海老沢敏＝日本語版監修／平凡社 1996 年発行

## 公演記録映像

フィガロの結婚 (2003.10.10) 【字幕入り】	アルマヴィーヴァ伯爵：クリストファー・ロバートソン、伯爵夫人：ジャニス・ワトソン
フィガロの結婚 (2005.4.9) 【字幕入り】	アルマヴィーヴァ伯爵：ヴォルフガング・ブレンデル、伯爵夫人：エミリー・マギー
フィガロの結婚 (2007.10.20) 【字幕入り】	アルマヴィーヴァ伯爵：テトレフ・ロト、伯爵夫人：マイヤ・コヴァレフスカ
フィガロの結婚 (2010.10.13) 【字幕入り】	アルマヴィーヴァ伯爵：ロレンツォ・レガッツォ、伯爵夫人：ミルト・パパンテ

## DVD

フィガロの結婚 ('66 ザルツブルク音楽祭)	アルマヴィーヴァ伯爵：イングヴァル・ウィクセル、伯爵夫人：クレア・ワトソン
フィガロの結婚 ('67 ハンブルク国立歌劇場)	アルマヴィーヴァ伯爵：トム・クラウゼ、伯爵夫人：アーリーン・ソーンダース
フィガロの結婚 ('75～'76 ロンドン (映像))	アルマヴィーヴァ伯爵：ティートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ、伯爵夫人：キリ・テ・カナワ
フィガロの結婚 ('76 コーシエ・オーパー・ベルリン)	アルマヴィーヴァ伯爵：ウヴェ・クライシヒ、伯爵夫人：マグダレーナ・ファレウイチ
フィガロの結婚 ('80 東京文化会館)	アルマヴィーヴァ伯爵：ヘルント・ワイクル、伯爵夫人：グントウラ・ヤノヴィツ
フィガロの結婚 ('96 チューリヒ歌劇場)	アルマヴィーヴァ伯爵：ロニー・キルフリー、伯爵夫人：エヴァ・メイ
フィガロの結婚 ('97 コンピエーニュ帝国劇場)	アルマヴィーヴァ伯爵：フリッツ・ル・シュヴァリエ、伯爵夫人：ソフィー・フルニエ
フィガロの結婚 ('99 ベルリン国立歌劇場)	アルマヴィーヴァ伯爵：ローマン・トレケル、伯爵夫人：エミリー・マギー

※「フィガロの結婚」、モーツァルト関連資料は他にも多数ございます。お気軽にお問合せください。